

# FAO Newsletter

2008年7月  
Vol. 28



今月の統計

食料品消費者価格  
指数の上昇率\*

スリランカ 25.6%  
(日本は1.4%)

発行：(社)国際農林業協働協会(JAICAF) www.jaicaf.or.jp 〒107-0052 東京都港区赤坂8-10-39 赤坂KSAビル3階 TEL：03-5772-7880 Email：fao@jaicaf.or.jp

Contents

目次

■食料危機克服に向け年間300億ドルの資金拠出を  
■地域に応じた食料増産を目指し、国連機関とAGRAが連携  
■農産物価格の高止まり続く見込み

■食料価格は生産増にもかかわらず、依然として高水準  
■ソマリア、人口の35%以上が食料危機に直面  
■JOCV隊員 堀内氏、FAO カンボジア着任  
■ミャンマーの食料基地に壊滅的被害

■世界の茶市場を活性化させる新しいアイデア  
■食料価格高騰問題に関するTICADサイドイベント  
■「アフリカン・フェスタ2008」に出展

食料サミット

Food Summit



## 食料危機克服に向け年間300億ドルの資金拠出を

## 地域に応じた食料増産を目指し、国連機関とAGRAが連携



©FAO/Giulia Napolitano

▲ディウフFAO事務局長

6月3-5日にローマのFAO本部で開催された食料サミット冒頭において、ディウフFAO事務局長は、2006年に全世界で1兆2,000億ドルが軍事費に支出されている一方で、食料危機克服のために必要とされているのは年間300億ドルであると訴え、各国の指導者たちに資金拠出を呼びかけました。また、1980年には17%だったODAにおける農業支援が2006年には3%に落ち込み、さらに2006年には、1億トンの穀物をバイオ燃料に転用するために110億ドル以上の補助金が支出されたことを挙げ、現在の食料危機の要因が政治的・社会的なものであることを指摘しました。そして危機を克服するためには、資金・技術・実施能力を持つ国々と食料危機に脅かされている国々が創造的な協力関係を作り出していくことが必要であると訴えました。(6/3、ローマ)

関連ウェブページ

Summit website : [www.fao.org/foodclimate](http://www.fao.org/foodclimate)

食料サミットの期間中、FAO、世界食糧計画 (WFP)、国際農業開発基金 (IFAD) は、アフリカが直面する困難を打開するため、アナン前国連事務総長が率いるアフリカ緑の革命同盟 (AGRA) と協力していくことを公表しました。アフリカでは、1人当たり食料生産量が30年間低下し続け、単位面積当たりの生産が世界平均の4分の1に過ぎず、2億人以上が慢性的な食料不足に苦しめ、さらに5歳未満の乳幼児3,300万人が栄養不足に苦しんでいます。国連機関とAGRAは、生物多様性、水そして土地の保全に配慮しながら、地域の気候・土壌に応じた食料増産を通して、農民の収入増を目指していきます。FAOは地域ごとに食料生産の見通しを立て、技術支援を行うとともに、農業への投資を増やすために取り組んでいきます。(6/4、ローマ)



©FAO/Giulia Napolitano

▲調印式にて、左からアナンAGRA代表、シーランWFP事務局長、ディウフFAO事務局長、ウワンゼIFAD副総裁 (ボーグ総裁代理)

関連ウェブページ

FAO : [www.fao.org](http://www.fao.org)  
IFAD : [www.ifad.org](http://www.ifad.org)  
WFP : [www.wfp.org](http://www.wfp.org)  
AGRA : [www.agra-alliance.org](http://www.agra-alliance.org)

食料価格

Food Price



## 農産物価格の高止まり続く見込み 最新のOECD/FAO農業見通し発表

最新の経済協力開発機構 (OECD) とFAOの農業見通し「OECD-FAO Agricultural Outlook 2008-2017」によれ



©FAO/Giulio Napolitano

▲食料価格高騰は貧困層と空腹に苦しむ人々を直撃している

ば、農産物価格は最近の記録的高値からは下がるものの、今後10年は過去10年の平均価格に比べかなり高値となる見込みです。また、インフレ率で修正した実質価格では、コメが10%未満、小麦が20%未満、粗粒穀物・油料種子が30%程度、植物油については50%以上の価格上昇が見込まれています。報告書は、過去2年間の価格急騰の主要因であった干ばつによる在庫量低下の影響は一時的なものとしたうえで、より恒常的な要因として、石油価格高騰や食習慣の変化、都市化、経済成長や人口増加、さらにバイオ燃料の需要増加を挙げています。世界のエタノール燃料生産量は2000-07年の間に3倍となり、2017年までにさらに倍増すると予測されており、こうしたバイオ燃料の生産量増加が、一層の作物価格高騰を助長する結果となっています。(5/29、パリ/ローマ)

※詳細は季刊誌「世界の農林水産—FAOニュース—」2008年秋号(9月発行)に掲載予定

#### 関連ウェブページ

OECD-FAO Agricultural Outlook 2008-2017 : [www.fao.org/es/esc/en/2/3/highlight\\_550.html](http://www.fao.org/es/esc/en/2/3/highlight_550.html)  
 High-Level Conference on World Food Security: the Challenges of Climate Change and Bioenergy (3-5 June 2008) : [www.fao.org/foodclimate](http://www.fao.org/foodclimate)  
 The World Food Situation : [www.fao.org/worldfoodsituation](http://www.fao.org/worldfoodsituation)  
 プレスリリース：農産物価格の高止まり続く見込み : [www.fao.or.jp/media/press\\_080529.pdf](http://www.fao.or.jp/media/press_080529.pdf)

## 食料価格は生産増にもかかわらず、依然として高水準

### いくつかの貧しい国では飢餓増加の可能性

最新のFAOの食料需給見通し「Food Outlook」によると、食料価格の上昇は収入の大部分を食料に当てている多くの国の弱者層に打撃を与えており、2008年の低所得食料不足国(LIFDCs)の食料輸入総額は、2007年の40%増に当たる1,690億ドルに達する見込みです。2008年1-4月の平均価格は昨年同時期に比べ53%高いものとなっており、ほとんどの農作物の国際価格は降下を始めているものの、以前の水準に

まで戻る可能性は低いと予測されています。

世界の穀物生産(精米を含む)は、2007年の3.8%増に当たる約21億9,200万トンという記録的な生産高となる見通しです。しかし、単期の豊作のみでは在庫の補充と価格の不安定性を抑えるのには不十分であるため、多くの基本農産物に関して予測される2008-09年期における価格の低下は、限定されるものと見られています。(5/22、ローマ)



©FAO/Giulio Napolitano

▲今後も穀物の高価格が見込まれる

※詳細は季刊誌「世界の農林水産—FAOニュース—」2008年秋号に掲載予定

#### 関連ウェブページ

Food Outlook : [www.fao.org/docrep/010/ai466e/ai466e00.htm](http://www.fao.org/docrep/010/ai466e/ai466e00.htm)  
 プレスリリース：食料価格は生産増にもかかわらず、依然として高水準 : [www.fao.or.jp/media/press\\_080522.pdf](http://www.fao.or.jp/media/press_080522.pdf)

## ソマリア、人口の35%以上が食料危機に直面

現在、ソマリアでは、食料価格高騰と干ばつによって人口の35%に当たる260万人以上が食料危機に直面しており、4月半ばから6月までの大雨季の雨量がこのまま平年を大きく下回るようであれば、全人口の半数に当たる350万人が食料および生活を脅かされ、重大な人道危機が起きると予想されています。2年続きの干ばつにより、約60万人の遊牧民も厳しい食料危機に直面しています。また、輸入米、国産のトウモロコシおよびソルガムのいずれも昨年からの価格が高騰し、地域によっては4倍近くに膨れあがっており、都市部の貧困者60万人が食料を手でできなくなっていると伝えられています。FAOは援助国および国際協力機関と協力しながら農業復興支援の取り組みを行っています。(5/19、ローマ)

#### 関連ウェブページ

Food Security and Nutrition Brief : [www.fsousomali.org/fileadmin/uploads/1304.pdf](http://www.fsousomali.org/fileadmin/uploads/1304.pdf)  
 Food Security Analysis Unit - Somalia : [www.fsousomali.org](http://www.fsousomali.org)  
 FAO and emergencies : [www.fao.org/emergencies](http://www.fao.org/emergencies)  
 FAO relief and rehabilitation activities in Somalia : [www.fao.org/emergencies/country\\_information/list/africa/somalia](http://www.fao.org/emergencies/country_information/list/africa/somalia)



## JOCV隊員 堀内氏、FAO カンボジア着任

2007年に国際協力機構 青年海外協力隊(JICA-JOCV)との間で結ばれた連携協定に基づく協力の第1号として、5月

27日、FAOカンボジア事務所にJOCVの堀内信輔氏が着任しました。今回の協力隊員派遣が、JICA-JOCVとFAOとの更なる関係強化につながることを期待されます。

堀内氏が派遣されたのはカンボジア西部の米どころ、バッタ



© Y. Ogawa

▲農民グループのリーダーを集めた水利組合の組合費徴収に関するミーティング（右奥が堀内氏）

ンバン州の  
かんがいプ  
ロジェクト  
です。この  
プロジェクトはイタリア政府の支援を受け、2006年6

月から3年

間、かんがい施設の復旧と機能強化、参加型かんがい管理シス

テムの強化、農業生産性の向上、地域開発の支援の4つの事業を実施しています。このうち、堀内氏には参加型かんがい管理システム強化のための農民水利グループの形成、支援にあたっていただきます。

カンボジア到着後、JICA事務所とFAOカンボジア事務所での打ち合わせを終え、早速バットバン州に向かいました。一見、スリムで色の白い好青年の堀内氏、話すうちにスポーツマンでモルディブやザンビアでも活躍した強者ということがわかり、現地職員ともすぐに打ち解けている様子を見て、この初の隊員派遣の成果への期待を高めました。

(FAOカンボジア事務所 小川佳子)

## 緊急支援

## Emergency Relief



# ミャンマーの食料基地に壊滅的被害 貧しい農漁村の緊急支援に1,000万USドルが必要

FAOは、サイクロン「ナルギス」により壊滅的な打撃を受けたミャンマーの貧しい農漁村を支援するため、1,000万USドルの資金提供を呼びかけました。

コメや畜産物、水産物をはじめ同国の食料の多くを生産する、エヤワディ、ヤンゴン、ボゴ管区ならびにモン、カイン州の5地域において災害の影響が特に大きく、食料安全保障が脅かされています。沿岸地域における貧困層の不安定な食料事情に加え、災害前に収穫されたコメも高潮の被害を受けたとされています。さらに内陸および沿岸漁業、畜産業も打撃を受け、被災世帯はおおよそ200万にのぼるといわれています。6月上旬に始まるコメの作付シーズンの到来を控え、農地の被害調査や、種子や肥料、農具

などの生産資材の供給が急務となっています。

FAOによる資金提供の呼びかけは国連の緊急支援策の一端で、農畜産業および漁業セクターにおける復興活動を目指します。(5/9、ローマ)



©FAO/Rajendra Aryal

▲被害を受けたエヤワディ管区。農業を中心とする生活の再建が大きな課題である

### 関連ウェブページ

FAO and emergencies : [www.fao.org/emergencies](http://www.fao.org/emergencies)  
FAO Regional Office for Asia and the Pacific :  
[www.fao.org/world/regional/rap/highlights.asp](http://www.fao.org/world/regional/rap/highlights.asp)

## トピックス

## Topics



# 世界の茶市場を活性化させる新しい アイデア



©FAO/13646/J. Isaac

▲インドのNilgiri山脈で茶を摘む女性たち

世界の茶市場は、他の熱帯作物と同様、需要の伸びを先取りして供給増の傾向にあり、これによる価格の下落が開発

途上国における生産者の収入を減少させています。5月14-16日に中国・杭州で開催の「茶に関する政府間会合」のため

に用意されたFAOの報告書によると、その打開策として力強い経済成長を遂げつつも1人当たりの消費量が少ない途上国での市場開拓の可能性が注目されています。

世界の茶の生産量は、主に中国、ベトナム、インドでの歴史的な豊作の結果、2006年には年成長率が3%を超えました。しかし主要生産国における1人当たりの消費は伸び悩み、消費量の年成長率は過去数十年の平均2.7%を下回る1%に留まっています。報告書では品質向上の効果も考察されていますが、品質評価の条件は文化的習慣、生産方法、生産地の気候条件等の違いによって一様ではないことから、国際基準の設定は簡単ではありません。(5/14、ローマ)

### 関連ウェブページ

Documents of the Hangzhou meeting including the report on tea quality improvement : [www.fao.org/unfao/bodies/ccp/tea/2008](http://www.fao.org/unfao/bodies/ccp/tea/2008)



## 食料価格高騰問題に関するTICADサイドイベント

5月28-30日に横浜で行われた第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)の2日目(29日)に、FAOは、世界銀行、IFAD、WFPと共催で「食料価格高騰問題に関する



©World Bank

▲食料問題をめぐる議論には、アフリカ各国代表をはじめ約300名が参加した

ハイレベル・パネルディスカッション」を開催しました。

同会合はTICAD IVのサイドイベントとして行われ、共催4機関からゼーリック世銀総裁、トラオレFAOアフリカ地域事務所長、ボーグIFAD総裁、シーランWFP事務局長が参加したほか、福田総理大臣、高村外務大臣、ピンAU委員長が出席し、AU議長のカクウェテ・タンザニア大統領が司会を務めました。トラオレ氏は「現在アフリカ53カ国のうち6カ国だけが農業分野に10%以上の国家予算を充てている。1980年には30%だった世界銀行の農業予算が2007年には12%に落ちるなど、農業に対する公的開発支援は全体の4%にすぎない状態となっている」と述べ、食料価格高騰への取り組みにおいてもアフリカの食料増産、農業生産向上を図ることこそが大切であると強調しました。

### 関連ウェブサイト

世界銀行東京事務所：食糧価格高騰に関するハイレベル・パネルディスカッション：  
[go.worldbank.org/3Q8L8HDF50](http://go.worldbank.org/3Q8L8HDF50)

外務省：TICAD IV：www.mofa.go.jp/mofaj/area/ticad/index\_tc4.html

## 「アフリカン・フェスタ2008」に出展

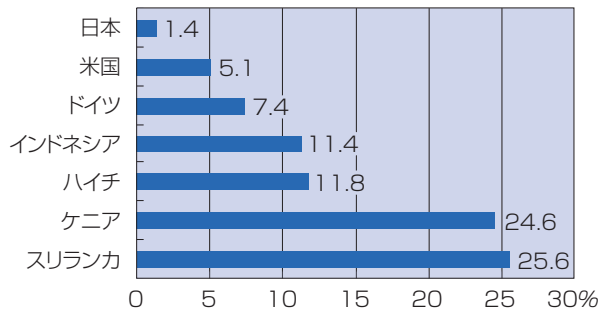
5月17-18日、外務省主催、横浜市共催により、横浜赤レンガ倉庫イベント広場にて「アフリカン・フェスタ2008」が開催されました。本フェスタは、アフリカに対する理解と関心を深め、親近感を醸成することを目的としています。10年目となる今年は、TICAD IVが5月末に横浜で開催されるため、会場を従来の東京から移して実施されました。昨年の2倍以上となる約20万名が来場し、過去最高の入場者数となりました。セネガルの人間国宝ドゥドゥ・ニジャエ・ローズの飛び入り演奏、アフリカの音楽家やダンスグループによる公演、在京アフリカ大使館の文化紹介、NGO等による草の根レベルでの活動紹介などがありました。FAO日本事務所と国際農林業協働協会(JAICAF)はそれぞれブースを設置して、アフリカ支援活動を紹介し、TICAD IVや「国際イモ年」に関連した広報活動を行いました。

### 関連ウェブサイト

アフリカン・フェスタ2008：www.africanfesta2008.com

## 今月の統計をよむ

食料品消費者価格指数の上昇率  
(2007年2月-2008年2月)



食料価格高騰の消費者への影響は、国によって異なり、日本は最も影響の小さい国の一つです。グラフは、いくつかの国の事例を示したものです。2007年2月-2008年2月の期間において、スリランカでは、消費者物価指数が19%、食料品消費者価格指数は26%上昇しました。日本は最も影響が小さく、消費者物価指数が1%、食料品消費者価格指数が1.4%の上昇にとどまっています。

一般的に、先進国よりも開発途上国の食料品消費者価格指数の上昇が大きくなっています。これは、開発途上国の消費者の方が、加工度の低い食料品を摂取していることから、一次産品価格の高騰の影響を直接受けやすいこと等によるものです。また、これらの開発途上国では消費支出に占める食費の比率が高く、特に貧困層は食料価格高騰の影響を強く受けています。

(FAO日本事務所長 横山 光弘)

## テレフード募金にご協力をお願いします

募金は、アジアやアフリカの食料不足の地域で、貧困農民の食料増産を支援する「テレフード・プロジェクト」に使用されます。

郵便振替口座

00140-1-29732

(FAO飢餓撲滅草の根募金)

※振替手数料無料。ご寄付は税金控除の対象となります。



## メールニュース配信のお知らせ

FAO日本事務所では、FAOに関する各種情報をEメールで不定期に配信しています。ご希望の方は下記までご連絡ください。

FAO-Japan-Info@fao.org

## ニュースレターの配布について

本紙は、季刊誌「世界の農林水産-FAOニューズ-」とセットでJAICAFの会員にお送りしています。ご希望の方はJAICAFまでお申し込みください。

※ニュースレターは指定場所でも配布しています。